

平成28年度 小平市公共施設マネジメント市民会議ニュース

VOL.2 平成28年7月26日

第2回 小平市公共施設マネジメント市民会議

- テーマ：公共施設における地域コミュニティについて
- 日時：平成28年7月23日(土曜) 午後2時～午後4時

第3回 小平市公共施設マネジメント市民会議

- テーマ：公共施設マネジメントにおける公民連携について～PPP/PFI～
 - 日時：平成28年7月26日(火曜) 午後6時半～午後8時半
- ※場所はいずれも中央公民館 講座室2

市では、将来の人口減少や施設の老朽化など、公共施設を取り巻く環境の変化を見据え、平成27年12月に、これからの公共施設の大きな方向性を示した公共施設マネジメント基本方針を策定しました。基本方針に沿った具体的な取組を推進するため、(仮称)公共施設適正配置実施計画などを策定するにあたり、市民の皆さんの声をお聴きし、意見交換を行う市民会議を開催しています。



市民会議の様子



市からの説明の様子(第2回)



ワークショップの様子(第2回)



発表の様子(第3回)

今回の市民会議は、会議の冒頭でテーマについて市から説明を行った後に、グループに分かれてワークショップを行いました。市からの説明の概要とワークショップで出た主な意見は裏面のとおりです。



裏面につづく



テーマについて(概要)



1 公共施設における地域コミュニティ

小平市公共施設マネジメント基本方針では、施設の配置について学校や駅などを中心としたゾーニングを考慮しながら検討を行うとしています。市民同士のふれあいや交流など地域コミュニティを育む場として、公共施設の機能が求められる中、地域コミュニティを考慮した地域区分について考えていく必要があります。

2 公共施設マネジメントにおける公民連携について～PPP/PFI～

人口減少・少子高齢化、施設の老朽化、財政バランスの悪化など、今後の公共施設を取り巻く環境が変わろうとしています。これら課題を解決するひとつの手法としてPPP/PFI（Public Private Partnership/Private Finance Initiative）といった公民連携があり、その可能性について、検討を進める必要があります。



ワークショップでの主な意見



1 公共施設における地域コミュニティについて

- ・公共施設は、子どもや高齢者が歩いて行ける距離にあってほしい。
- ・自治会を地域区分の単位とした場合では、範囲が狭いのではないか。
- ・多世代の交流の場を生み出す場として、学校施設をコミュニティの核としてはどうか。
- ・防災の拠点としての機能を優先した場合、小学校区単位が望ましい。

2 PPP/PFI の視点から新しい価値の創造などのアイデアについて

- ・公共施設に郵便局・コンビニ・カフェを誘致して、高齢者等の利便性の向上と職員にとっての福利厚生につなげるとともに、賑わいやおしゃれ感を創出する。
- ・行政の保有する資産を民間企業に貸すなど運用を行い、得られた収入を施設整備費などに充てる。
- ・PPP/PFIを活用して、財政的な負担の軽減につなげる。
- ・行政との連携は、民間事業者にとっても地域貢献の面でもメリットがある。



【お問合せ】

小平市 企画政策部 行政経営課

〒187-8701 小平市小川町2-1333

TEL 042-346-9756 FAX 042-346-9513

メールアドレス gyoseikeiei@city.kodaira.lg.jp